

令和 5年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告書

区市町村名 多 摩 市

学校名 多摩市 立 南鶴牧小学校

1 事業目的 協議会名 南鶴牧小グリーンネットワーク委員会

オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校として、南鶴牧小学校の学校2020レガシーであるボランティアマインドを醸成し、自助・共助の気運を高め、地域の教育力向上を目指すために、校庭芝生の維持管理や地域に愛される芝生化校庭を担う中心としての南鶴牧小グリーンネットワークのさらなる活性化を目指すとともに、子どもが体を動かす喜びを味わえる環境を整備していくことを目指す。

2 主な取組と成果

TOKYO2020レガシーへの取組として、地域・保護者・児童のボランティアマインドを醸成するために、校庭芝生の維持管理作業への協力依頼を本協議会ブログ、南鶴牧小学校の学校ホームページ等で広報をした。地域・保護者と連携した芝生維持管理作業は、4月から11月までに20回実施し、延1189名の地域・保護者・児童・学校職員の参加があった。今年度は、学校行事や天候不順により実施回数は昨年度の半分となったが保護者ボランティアの参加率は昨年度並みを維持でき、児童のボランティアの参加も延518名で保護者・児童のボランティアマインド醸成の機会となっている。

芝生校庭の維持管理は、芝生維持管理団体である本協議会(南鶴牧小グリーンネットワーク)のリーダーシップの下、適切な管理を継続することができた。今年は6月頃、芝生に大量の菌糸が発生したが、本会議委員との迅速な対応により、病原菌が拡大せず、芝生の健康状態を回復することができた。これまでの経験とノウハウがあったからこそその成果と捉えている。また、このことにより児童だけでなく保護者地域の方々からも芝生を心配する声が多数聞かれた。丁寧な芝生の情報発信することの意義を改めて実感した。

3 取組内容

1、芝生管理作業 実施日 3月中旬～12月上旬 毎週土曜日 各回1時間程度

対象者 南鶴牧小グリーンネットワーク委員会 南鶴牧小おやじの会 鶴牧SC 鶴牧ボーイズ
南鶴牧小父母と教師の会 南鶴牧小教職員 南鶴牧小児童

主な活動 校庭芝生の芝刈り、雑草抜き等の管理作業

活動の成果 リーダーも作業する方も一部の方の負担が大きくなることを避けながら芝生維持管理作業を続けていくシステムをつくり上げている。手押し芝刈り機を多くの方で交代しながら作業する方式をとることで、協力する気持ちが高まり、共生・共助社会を形成していくことに一役買っている。(参加者:地域・保護者・児童・学校、延べ1795名)



2、エコスポ祭 実施日 9月17日(土) 13時～15時 児童等440名参加

対象者 南鶴牧小児童 近隣保育園幼稚園小学校の園児・児童

内容 芝生管理作業支援者。及び支援団体によるスポーツのワークショップ

・キックターゲット・ローンズボール・フライングディスク・サッカーミニゲーム・フォームロケット

・バランスボールエクササイズ・パラバルーン・ほっこり茶道
・ベースランニング・スピードガンコンテスト・二人三脚・スナックゴルフ・握力測定

成果 南鶴牧小父母と教師の会によるリサイクル品回収等のエコ活動

リサイクル品の回収による収入は数百円とわずかではあるが、児童がしっかりと分別のルールに則って取組ができた。本校児童以外の芝生管理作業に参加している地域野球チーム、サッカーチーム、学区内保育園の参加が多かった。



4 今後について

昨年度本校は創立40周年を迎え、記念の芝生Tシャツを作成したが、児童保護者より芝生Tシャツ販売の要望が高まっている。理由としては芝生管理作業時にお揃いのTシャツを着用し作業に参加することで、より参加への意欲も向上を図れるのではということである。活動主体となる児童保護者より声が挙がるという点で、本校の芝生への愛着と理解が深まっていると捉えている。

また、新型コロナ感染症拡大防止対策がなくなり、芝生を活用した事業も復活することができている。児童・保護者からも芝生開放の回数増加を望む声も高い。エコスポ時の「芝生でお弁当」は特に好評であった。保護者・地域の芝生利用が増えることは、芝生管理作業への参加率向上にもつながると考える。「南鶴牧小の芝生」から「南鶴牧小地域の芝生」へと、児童・卒業生・保護者・地域の方々の思いを高め、芝生への一層の理解と芝生管理作業への参加を啓発するためのPR活動としても取り組んでいきたい事業と考えている。